

ゲリラ豪雨などで冠水したアンダーパス等の走行は危険です

冠水時には必ず迂回してください

アンダーパス等の冠水とは

道路や鉄道などの交差点で、道路を掘り下げてくぐり抜ける区間(アンダーパス)などは、地形的に雨水が集中しやすくなっています。

通常の雨では支障ありませんが、短時間に大量の雨が集中する「ゲリラ豪雨」などにより、アンダーパス等が冠水し、進入した車両が立ち往生する事故が発生しています。



冠水したアンダーパス

冠水時に進入すると...

水深
30cm

車が動かなくなります



マフラー(排気口)から水が入るとエンジンが停止して車が動かなくなり、立ち往生してしまいます。

水深
50cm

ドアが開かなくなります



水圧でドアを開けることができなくなり、車内に閉じ込められてしまいます。窓ガラスを割り、脱出することになります。

水深
1m

車が浮いて流されます



車両が浮いて水流に流されてしまいます。避難路が車両でふさがれ、避難に支障をきたすなど二次的な被害が拡大します。

!! 冠水時は、水深も水の中の様子もわかりません。遭遇したら安易に進入せず、必ず迂回してください。

愛知県の取り組み



情報板の設置

愛知県では、アンダーパスにおける冠水事故を防止するため、「冠水警報装置(情報板)」や「路面標示」の設置を行っています。



冠水5cmで「通行注意」



冠水10~15cmで「通行止」



水深を示す路面標示の設置

道路冠水想定箇所マップ

局地的な大雨により冠水する可能性のある箇所の地図を公開しています。以下のURLや右のQRコードから、愛知県道路維持課のホームページで見ることができます。URL : https://www.pref.aichi.jp/douroiji/kansuimap/aichi_ken.html



愛知県 建設部 道路維持課

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL:052-954-6539 E-mail:douroiji@pref.aichi.lg.jp